

JICA 帰国研修員と研究者による学術交流

原虫病研究発表と JICA 研修等事業に係るワークショップを開催

JICA 北海道（帯広）では設立以来、畜産分野の草の根技術協力や研修員受入事業を多数実施しています。その過程で築かれた道東地域の自治体や研究機関、酪農家等リソースとの関係は、当該地域における国際協力の重要な基盤となっています。引き続き道東地域の畜産分野での課題対応強化を図るため、現地ニーズの把握および昨今の潮流を理解するための研究発表およびワークショップを開催する運びとなりました。

JICA 北海道（帯広）と帯広畜産大学が協力して実施してきた JICA 研修にかつて参加した経験のある帰国研修員は、世界各国で活躍しています。今回はその中でも特に、世界規模の感染症対策（人獣共通感染症対策）の分野で活躍している帰国研修員を招きます。帯広畜産大学原虫病研究センターの研究者と連携して、今後の国際協力事業や研究の発展のための意見交換を行います。

また、午後の部（第2部）では「家畜衛生・疾病対策」をテーマに参加者が討論を実施。マラリアを中心とする国際的感染症の研究者である狩野繁之氏も討論に加わります。開発途上国の現状を知ることができる本件をぜひ取材いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

- 【名称】 地域と世界をつなぐ国際協力
～JICAにおける畜産分野協力の現状と今後のニーズについて～
- 【日時】 2020年2月4日（火）9：00～16：30
- 【場所】 国立大学法人帯広畜産大学 原虫病研究センター PKホール
帯広市稲田町西2線13番地、電話 0155-49-5642
- 【内容】 午前の部〔9：00～12：00〕 帰国研修員および大学教員による研究発表
＜発表者＞
JICA 帰国研修員：4名（ブルキナファソ、メキシコ、ウガンダ、ベトナム）
帯広畜産大学教員：4名
- 午後の部（第1部）〔13：30～14：00〕 講演会
テーマ『JICAにおける畜産分野協力の現状と今後のニーズについて』
狩野 耕司 氏（国際協力機構（JICA）農村開発部長）
- 午後の部（第2部）〔14：15～16：30〕 ワークショップ
テーマ『地域における JICA 研修事業と、開発途上国における家畜衛生・疾病対策についての意見交換』
＜コメンテーター＞
狩野 繁之 氏（国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部 部長）

玄学南氏（帯広畜産大学 原虫病研究センター センター長）
【主催】JICA 北海道（帯広）、国立大学法人帯広畜産大学 原虫病研究センター
【申込】必要。事前に下記までお申し込みください。

※取材をご希望の場合は1月30日（木）までに下記までご連絡下さい。

【本件に関する問い合わせ先】【申込先】
JICA 北海道センター（帯広）道東業務課 中栗 TEL 0155-35-1210 E-mail : Nakakuri.Yuka@jica.go.jp